おしらせ

「地上デジタル放送」の相談会および説明会

テレビのCMでご存じのように、来年の7月24日で今までのアナログ放送が終了し、デジタル放送に切り替わります。総務省ではこのたび、デジタル放送への受像機切り替えに関する相談会および説明会を実施します。デジタル放送への受像機切り替えに関することでお困りのことがありましたら是非ご来場ください。

▼期間　7月5日（月）～9日（金）
▼相談会の時間
○午前10時～昼12時まで
○午後2時30分～4時30分
▼説明会の時間
○午後1時～2時
▼どこで　ショッピングセンター「スピカ」内
※参加費は無料です。会場での機器の売り込みや契約の勧誘などは一切行いません。事前の参加申し込みは不要です。
■問い合わせ　総務省山形県テレビ受信者支援センター相談会グループ（☎023−6472283）

パッチワーク&聖画ステンドグラス展開催

パッチワーク教室の作品などを展示します。

▼期間　6月27日（日）～7月10日（土）
▼どこで　白鷹キリスト教会
■問い合わせ　山本（☎85−0179）

山形県消費生活サポーターを募集します

消費生活センターと地域を結ぶパイプ役として、消費生活センターが発信する情報を身近な人や地域、団体に伝えたり、地域の情報やニーズを消費生活センターに情報提供していただくボランティア「山形県消費生活サポーター」を募集します。

▼募集人数　20人程度
▼応募資格　次の全ての要件を満たすかた
○満20歳以上（平成22年4月1日現在）で県内在住のかた
○県が開催する研修会に参加できるかた
○消費生活や消費者問題に関心のあるかた
▼委嘱期間　委嘱の日から平成25年3月31日まで
▼主な活動内容
○消費生活に係る講座などの講師
○啓発資料などの配布及び説明
○消費生活情報の収集及び行政への情報の提供
▼応募方法　応募用紙に必要事項を記入のうえ、郵送・ファックス・電子メールのいずれかでお申し込みください。
※応募用紙は県ホームページからダウンロードできるほか、役場町民課くらし環境係にも備え付けています。
▼募集期間　6月14日（月）～7月16日（金）
▼申込　県くらし安心課（県消費生活センター／☎023−6330−3237）
■問い合わせ　町民課くらし環境係（☎85−6131）

第60回社会を明るくする運動住民集会

7月は更生保護強化月間です。犯罪のない明るい社会をつくるため住民集会を開催します。

▼いつ　7月1日（木）午後1時30分～4時
▼どこで　健康福祉センター
▼内容
①記念講演
演題「地域にこそイーハートーボの種を～芸術・文化と教育～」
講師　山形県立山形東高等学校校長　渡部泰山（たいざん）氏
②ビデオフォーラム「心のリレー」
▼主催　保護司会、更生保護女性会
■問い合わせ　健康福祉課福祉係（☎86−0111）

みんなの手で稀少生物を保全しませんか

町には、稀少生物が多く存在する「粥餅田（かいもちだ）湿原」があります。

しかし近年、湿原面が減少しているため、葦（よし）刈りをし湿原及び稀少生物の保全・調査を行っています。保全活動にご協力いただけるかたはぜひご連絡ください。

▼いつ　7月17日（土）午前8時30分～
▼どこで　中央公民館集合～粥餅田湿原
▼内容
①説明会(保全の目的・方法・稀少生物の説明)
②保全活動（調査、葦刈り、運搬）
▼持ち物　長袖長ズボン（動きやすい服装）、長靴、軍手、タオル、帽子
▼問い合わせ　教育委員会文化振興係（☎85−6146）

消防学校1日防災体験入校

消防学校と防災学習館の施設を県民に開放します。消防ポンプ車の乗車体験や放水体験、地震体験など楽しみながらいろいろな防災体験にチャレンジしてみませんか。

▼いつ　7月25日（日）午前10時～午後3時
▼どこで　県消防学校（三川町横山）
▼対象　小学生とその保護者
※先着120人
▼参加費　500円（昼食代など）
▼申込受付期間　7月1日(木)～16日(金)
■申込・問い合わせ　県消防学校（☎0235−66−2022／FAX0235−66−4002）

基金訓練　緊急人材育成・就職支援基金事業

パソコンIT基礎科開講！

▼いつ　8月2日（月）～10月28日（木）まで（3カ月コース）
▼どこで　町総合情報センター（パワーセンター隣り）
▼対象　ハローワークに求職申し込みをしているかたで、ハローワーク所長から受講勧奨を受けられるかた。
※詳しくはハローワークにてご確認ください。
▼定員　20人
▼内容　ワード・エクセル・パワーポイントなど企業就職の基本スキルが身に付きます。
▼申し込み　7月7日(水)まで
▼受講料　無料（ただし、テキスト代は有料です）
▼問い合わせ　白鷹町総合情報センター（☎86−0001）

文翔館収蔵品展「レトロな山形絵はがき展」

文翔館に多数所蔵してある明治時代からの絵はがきを展示いたします。

▼期間　7月8日（木）～8月10日（火）
【休館日…第1・3月曜日】
▼どこで　文翔館ギャラリー5・6・7・8
■問い合わせ　山形県郷土館「文翔館」（☎023−6355501）

おわびと訂正

6月14日配布いたしました、平成22年度スポーツカレンダー「町ゲートボール大会」の期日に誤りがありました。おわびして訂正いたします。

誤　9月中旬
正　7月16日（金）
←
■教育委員会生涯スポーツ係（☎85−6147）

ちょうりじょうゆうびん～おしらせ版～

7月は、「白鷹町の季節を味わう『夏』」と題して、「旬のおいしさを実感し、地域に関心を持つ」ことを献立のねらいとしています。白鷹産のすいかをはじめ、きゅうりのまるかじり、ミニトマト、長なすを使った「だし」も出す予定です。食べ物の持つ本来の旨みや甘みを十分味わってもらいたいと思います。

また、暑くなると食事もさっぱりとした「そうめん」や「ひやむぎ」など炭水化物にかたよった食事になりがちですが、成長期の子どもたちには、肉や魚などの主菜や、野菜を中心にした副菜も欠かせません。夏休みを前にして、しっかりした食事を取ろうとする意欲を持たせたいと考えています。

◇ おらほの食材 ◇
すいか、長なす、トマト、きゅうり、じゃがいも
キャベツ、玉ねぎ、大根、にんじん、にんにく

7月の学校給食献立表

1	2	5	6	7	8	9	12	13
木	金	月	火	水	木	金	月	火
肉どんぶり、磯香あえ、麩のみそ汁	ごはん、しゃもとちくわの天ぷら、調理場のさざ波漬け、かに玉スープ、ミニトマト	ごはん、ひじきご飯、クリーミーコーンフライ、野菜とわかめのおひたし、なめこのみそ汁	ごはん、鶏肉の生姜焼き、調理場のだし、キャベツのみそ汁	**七夕献立**…食パン、ミートソース、チーズ-nサラダ、フルーツポンチ	ごはん、鮭の味噌マヨネーズ焼き、トマトサラダ、わかめスープ、味付けのり	ごはん、ハンバーグ森のソースかけ、キャベツとコーンのごまドレサラダ、じゃがいもと玉ねぎのみそ汁	ごはん、いかリングフライ、すき昆布煮、小松菜のみそ汁	ごはん、焼き魚、キャベツのアーモンドあえ、すまし汁
14	15	16	20	21	22	23	26	27
水	木	金	火	水	木	金	月	火
小さいコッペパン、荒びきポークフランク、カミカミサラダ、冷やし中華	チキンカレー、キャベツソメンチ、まるかじりきゅうり、無着色福神漬	ごはん、肉じゃが、調理場のさっぱり即席づけ、大根とえのきのみそ汁	ごはん、さんま甘露煮、切り干し大根煮、もやしのみそ汁、ミルメーク	食パン、白身フライ、ミモザサラダ、クラムチャウダー、りんごジャム	**荒砥小学校のリクエスト献立**…ゆかりご飯、鶏肉のレモン漬け、中華サラダ、コーン入りたまごスープ、すいか	ごはん、茶碗蒸し、三色ごまあえ、豚汁、ふりかけ	**セレクト給食**…ごはん、あじフライ（または焼き栗コロッケ）、野菜入りひじき煮、豆腐のみそ汁、チーズ納豆	ごはん、厚焼きたまご、しらすとコーンのナムル、なすとじゃが芋のみそ汁、チーズ納豆

※このほか毎日牛乳が1本付きます。　※材料の都合により、献立を変更する場合があります。

図書館だより

■わたしが薦める1冊
◇図書館協議委員会　鈴木　雅明（荒砥小学校長）

『言葉の力、生きる力』　柳田　邦男　著　新潮社

この地球上に生命を持つ万物の支配者として、私達人類がこれまで繁栄できた宝物は、「言葉を持っていたこと」である。現代社会は急激な情報網の発達により、その「大切な言葉」が失われ始めている。著者は「ケータイ・ネット時代に突入して以来、情報は怒濤のように駆けめぐっているのに、言葉はイマジネーションの膨らみを失って、やせ細った記号と化し（中略）言葉の危機は、心の危機であり文化の危機だ」と憂いている。

「さあ、深呼吸して、雨にさわって」(セプルベダの名言)など、さまざまな先達の名言や考え方との感動的な出会いを振り返り、人間は5～6歳(遅くとも7～8歳）ころの強い感動や深く心惹かれる体験が原型となって、人間の豊かな感性や感覚は磨かれるものだと語る。

先達の「心を耕す名文句」や「生きるための表現」などを紹介しながら、「言葉の崩壊は暴力を生む」と諭している。“柳田の悟った学ぶべき教訓がいっぱいにあふれた1冊”になっています。子育て途上の皆さん…ぜひご一読下さい。

■今月の新購入図書　ここに掲載しているものは一部です。

書　名	著 者 名	出 版 社
宇宙主夫日記	山崎　大地	小学館
コーヒーの医学	野田　光彦編	日本評論社
痺れる	沼田まほかる	光文社
新聞が消える	アレックス・S	朝日新聞出版
乳のごとき故郷	藤沢　周平	文芸春秋
日本の「復元力」	中谷　巌	ダイヤモンド社
嵐の夜の読書	池沢　夏樹	みすず書房
裁判員	小杉　健治	日本放送出版協会
60歳からの現実(リアル)		ポプラ社

第279回　おはなしの会
7月3日　土曜　午前10時～　場所：図書館
楽しい本を準備してまっています。皆さんおいでください。
◎7月の休館日5，12，18，26日
※故大宮昭一氏より図書(「北土」など)をいただきました。

福祉医療証（身・子・親）の更新について

町は、重度心身障がい（児）者、乳幼児及びひとり親家庭など（6月30日まで母子家庭）の社会福祉の増進を図るため、医療費の軽減を行っております。

現在交付中の医療証は6月30日が有効期限です。引き続き交付希望のかたは更新の手続きが必要となります。

なお、平成22年7月1日から、所得税非課税世帯の父子も「ひとり親家庭等医療給付制度」の対象者となります。

※詳細についてはお問い合わせください。

▼申請期間
6月24日(木)～30日(水)
※なお、新規の申請は随時受け付けています。
▼申請場所
役場1階　❷番窓口
■問い合わせ
町民課国保医療係
（☎85−6130）

白鷹ソフト小村入居者募集！

これまで、白鷹ソフト小村の入居資格は、情報産業を営む個人・法人に限定されていましたが、今後は、研究開発、起業、新事業の創出、新分野への進出など、地域産業の育成も支援しながら、地域経済の活性化を図っていきたいと考えていますので、ぜひご活用ください。

▼所在地　鮎貝1520−1
▼内容　ビジネスオフィス（1戸建）計3棟
【内訳】
Aタイプ1棟（2階建約70坪）
使用料　5万7000円／月
Bタイプ2棟（平屋約30坪）
使用料　3万円／月
▼入居資格
①町内に事業所を有するまたは有する予定の個人または法人
②情報産業を営んでいるかた、または行おうとしているかた
③国税及び地方税を完納しているかた
▼入居条件
①入居日　7月から（5年以内の使用が可能）
②経費　使用に伴う経費は実費負担していただきます。
▼募集期間　6月22日（火）～7月9日（金）
▼申込方法　提出書類などに必要事項を記入のうえ、町産業振興課へ提出してください。
※なお、提出方法は郵送または持参のみとします（郵送の場合は7月9日消印有効）。
※提出書類など、詳細は町のホームページをご覧ください。
▼選考方法　白鷹ソフト小村使用許可選考委員会において選考します。
▼その他　施設の利用には一定の条件があります。詳しくはお問い合わせください。
■申込・問い合わせ　産業振興課商工振興係（☎85−6136）